

在メダン日本国総領事館 海外安全対策情報（令和4年1月～3月）

1 治安情勢

(1) 一般犯罪

邦人の方が被害に遭われた事件に関する情報はありませんでした。

報道によると、前期同様、各種犯罪の中でも、薬物犯罪（使用、所持、密輸）、窃盗（ひったくり、オートバイ盗、侵入盗）が頻発していました。

窃盗の被害品は、スマートフォン、アクセサリ、自転車、オートバイ等の転売可能なものが多いため、それらの携帯・管理には充分注意してください。

(2) テロ情勢

報道によると、3月中、警察の捜査により、テロ組織ジェマー・イスラミア（JI）メンバーと疑われる人物が、西スマトラ州ダルマスラヤ県において12人、同州タナ・ダタル県において4人、リアウ諸島州バタム市において4人検挙されました。

現在、具体的な脅威情報には接していませんが、引き続き、当地においてテロの標的とされている軍・警察関連施設及び宗教施設には、不必要に近寄らないようにするとともに、周囲の状況に注意を払い、不審な状況を察知したら、速やかにその場を離れるなど自らの安全確保に努める必要があります。

(3) デモ情報

北スマトラ州メダン市、ランカット県等において、土地の所有権を巡る問題や難民問題に関する小規模（約10人～50人）のデモがしばしば発生しました。

デモ参加者の一部が暴徒化する可能性もありますので、付近には近づかないようにしてください。

(4) 交通事故

邦人の方が被害に遭われた事故に関する情報はありませんでした。

(5) 災害

当館管轄内で国家防災庁の噴火警戒レベル3（地震・火山活動が活発化している状態）に該当し、入山規制等が実施されているのは、2022年3月末現在、北スマトラ州カロ県所在のシナブン山のみです。

2 対日感情

全般的に良好な状況に変化は見られませんでした。

3 日本企業の安全に関する諸問題

関連情報はありませんでした。